

平成25年度 社会福祉法人 ひびきの杜 本部事業報告

平成25年度は前年の苦しい経営状況から「安定した経営状態を確保するために積極的に様々な方策を立てていく」という重点目標をもって始まりました。経営基盤の要であるご利用者増について、デイサービスでは平成21年度に次ぐ年間7000人台のご利用を頂き、平成22年度から続いていたご利用6000人台からようやく抜け出した感があります。しかし、訪問入浴サービスに関しては、訪問入浴車2台稼働をフルに近い形で行っていた平成22年度と比べ500人を超える利用者減が平成25年度も続きました。それでも決算からみると、両部門とも予算根拠を上回る利用者数となったため、当初無計上だった賞与も、支給をすることができました。とはいえ未だ本来目標とする支給額には届かない決算であり、こちらについては次年度にさらなる向上となるよう引き継ぎたいと思います。

また『様々な方策について』特に今年は出張体操や地域行事へのスタッフの参加等、小さな交流ではありますが、大切に丁寧に続けたことで、直接にご家族やご本人から相談頂くことが増え、確実に地域への認知が深まった感がありました。居宅介護支援事業所に対しても、サービス時間に柔軟性を持たせ、よりお一人お一人のニーズに合わせた対応を行っていること、生活困窮者への減免制度への登録をしたこと、毎月の実績配布時に合わせ配布している空き情報の有効な活用等、施設の特色を知って頂く事に力を入れました。またデイサービスにおいては平成22年度に交代した主任や常勤職員となった看護師が3年経ち、各ケアマネージャーとの人間関係が深まり、信頼を得始めたという状況も利用者増には大きく関わったと感じます。

補助金・助成金については、スタッフの理解不足や注意不足によって、申請したにもかかわらず受給できない事案もありました。特に厚生労働省など公的な機関の助成金については、種類によっては複雑かつ提出書類も多岐にわたることから、十分な準備が必要であるし、一人のスタッフが担うべきかどうか、ということも次年度の課題として考えなければならないと思います。

人材の確保については人事報告が表しているとおおり、募集を行っているにも関わらず採用者がおらず、退職のみが続くという大変苦しい1年でした。特に訪問入浴においては2台目の稼働に必要な人材の確保ができず、それがそのまま決算の数字になったと思います。しかし、これについては3月から4月にかけて、今までになく多くの応募があり、デイサービスはもちろん、訪問入浴にとってはやっと2台目の核となりえるスタッフが備わる見通しとなり、次年度への期待を残し、25年度が終わりました。

1. 組織・規定・処遇改革

- ・給与規定における資格手当の改訂

2. 人事

採用・退職

- ・宮崎よし子（看護職員）： 6月24日採用～7月6日退職
- ・初田 弘子（介護職員）： 6月30日退職（10ヶ月）
- ・宮原由紀子（看護職員）： 2月 3日採用～2月4日退職
- ・佐田 和矢（介護職員）： 3月31日退職（3年11ヶ月）
- ・井上ゆうき（介護職員）： 3月31日退職（3年1ヶ月）

採用・退職（アルバイト契約）

- ・原口 有紀（看護職員）： 12月31日退職（1年8ヶ月）
- ・山下 伸子（介護職員）： 1月15日退職（1年7ヶ月）

人事異動

- ・高山 文美（介護職員）： 6月15日～育児休暇取得後非常勤職員として復職

3. 交付金・助成金等

- ・派遣労働者雇用安定化特別奨励金（平成25年8月：250,000円）
- ・特定求職者雇用開発助成金（平成25年8月：450,000円）
- ・ 〃 （平成26年1月：298,369円）
- ・正規雇用労働者育成支援奨励金（平成26年3月：250,000円）

*この奨励金はリンパケア研修受講者（5名）の受講費用として受給

- ・24時間テレビ福祉車両寄贈（訪問入浴車）
 - ・日本財団助成金（デイサービス送迎車）
 - ・年賀寄附金配分申請（訪問入浴車）
- } 申請するも落選

4. 地域交流・広報

- 出張体操

京町コミュニティーセンター・ふれあいいきいきサロン 瀬の下地区
 // . // 京町地区

小森野コミュニティーセンター・ふれあい会食

合川コミュニティーセンター・民生委員会

// . ふれあい会

// . ふれあい会いずみサロン

- 講師派遣

京町コミュニティーセンター・女性の会コミュニティースクール

- 郵便局有料広告（平成25年3月～6月：10月～12月）

- 西日本新聞（新幹線開業・くるっば誕生3周年）広告掲載

- イベントへの久留米市後援申請（7月介護講座・11月介護講座・12月コンサート・2月バザー）

5. スタッフの質の向上・スキルアップ

本年は『常に利用者の視点に立った福祉サービスを行う』という法人の理念を特に意識し、またスタッフからの要望もあって、例年、年に一度行っていた理事長研修を4回に渡って行い、具体的な考え方や方法論などを学びました。『利用者の視点に立って』考える私たちの視点がより理念に近づき、スタッフそれぞれの心に触れたように思います。

また、創設から4年目となった自発的な外部への研修参加への一人当たり10,000円の補助も引き続き行い、研修参加を奨励しました。しかしこれについては、昨年同様個人差が非常にあり、研修への参加の促しを積極的に行う事と、それぞれ課題の違うスタッフへの適した研修参加にも法人として時間と経費をかけて行う事の必要性を次年度へ引き継ぎたいと思います。

- 施設内研修

月	対象	研修テーマ・内容	講師	参加人数
4月	職員	ひびきの杜理念・沿革・対人援助職として	社会福祉法人ひびきの杜 理事長 齋藤考由	20名
7月	職員	目の前で人が倒れたら（救命・救急）	社会福祉法人ひびきの杜 理事長 齋藤考由	19名
7月	職員	ふじのさと介護講座『自分の最後の生き方を自分で決めてみませんか』 ～看取りのケアを通して見えてくるもの～	在宅療養サポートセンター久留米 センター長 小野幸代氏	18名
11月	職員	ふじのさと介護講座『介護者だって疲れるのだ』 ～介護する人のためのセルフケア講座～	社会福祉法人ひびきの杜 理事長 齋藤考由	23名
2月	職員	「ユマニチュード」とは（対人援助の基本）	社会福祉法人ひびきの杜 理事長 齋藤考由	19名
3月	職員	26年度法人事業方針と職業倫理について	長谷川美樹・濱田美穂子	22名

上記の研修の他にも、デイサービス部門、訪問入浴部門ともに毎月、スタッフミーティングを行い、適宜、ヒヤリハットや事故事例の検討をし介護技術や対人援助についての研鑽に努めた。

- 施設外研修・資格取得・他事業所との交流（別紙）

- スタッフ個々の課題への取り組み・目標設定

- 学生受け入れ

- 久留米大学文学部社会福祉学科から1名 社会福祉士教育実習

* 昨年まで受けていた久留米歯科衛生専門学校訪問介護員2級の実習は訪問介護員2級制度がなくなつたため実習がなくなりました。

・施設外研修（資格取得）・交流会

月	研修テーマ・内容	主催	参加者
5月	亡くなりゆく人とのコミュニケーション	栄光ホスピスセンター	長谷川・篠崎
	社会福祉法人役員研修会『災害対策のポイント』	久留米市	長谷川
	算定基礎届事務説明会	福岡県社会保険協会	齋藤
6月	知っておきたい介護基礎講座	(株)アクトジャパン	高橋・野田
	在宅になりかわる施設とサービス構造	(有)いきいきりハビリケア	長谷川・濱田・齋藤・高橋
	第14回日本認知症ケア学会大会	日本認知症ケア学会	下川
	第18回学術集会	日本老年看護学会	原口
	第42回西日本芸術療法学会	西日本芸術療法学会	篠崎・梅崎・本村・齋藤・大木下
	認知症予防地域後援会「いずれくる命の終え方」	久留米市	齋藤
	実習指導者フォローアップ研修	福岡県社会福祉士会	浜田
8月	安全運転管理者講習	福岡県公安委員会	伊原
	日本芸術療法学会セミナー（2日間）	日本芸術療法学会	梅崎
9月	九州臨床音楽療法学会第8回大会	九州臨床音楽療法学会	梅崎・本村・齋藤・篠崎・野田・大木下
	介護職員確保定着促進事業「リーダー研修会」（2日間）	福岡県	牟田
10月	全国レクレーション大会（2日間）	全国レクレーション大会	伊原
	通所サービスにおける介護記録・計画書の書き方	通所サービス部会	浜田・高橋・長谷川
	介護技術講習会（4日間）	三光学院	本村
11月	心のケアワークショップ「死について考える」（3日間）	栄光ホスピスセンター	長谷川・篠崎
	介護福祉士受験対策直前セミナー	九州医療学院	永田・本村
	夢のみずうみ村デイサービスセンター見学会	通所サービス部会	浜田・伊原・下川
	日本芸術療法学会学術大会（2日間）	日本芸術療法学会	梅崎
	介護職員確保定着促進事業「技術向上研修Ⅲ」	福岡県	野田・荒島
1月	通所サービス事業者間 意見交換会	通所サービス部会	濱田・長谷川
	介護福祉士シークレットセミナー	介護福祉学院	永田
	介護職員確保定着促進事業「技術向上研修Ⅱ」	福岡県	本村・田中・藤原・大木下・佐田
	介護職員確保定着促進事業「技術向上研修Ⅲ」	福岡県	大庭
2月	介護支援専門員実務研修（7日間）	福岡県社会福祉士会	伊原
3月	なんでも言って委員会（居宅介護支援事業部会との意見交換会）	通所サービス部会	浜田・下川
	生活相談員スキルアップ研修「通所介護計画作成編」	お茶の水サービス学院	大庭・伊原
通年	シニアの会（4日間）	シニアの会	齋藤
	久留米詳読会（11日間）	医療心理学研究所	篠崎・梅崎・本村・大木下
	福岡詳読会（11日間）	医療心理学研究所	篠崎・梅崎
	荒木史朗先生セミナー（8日間）	医療心理学研究所	篠崎・梅崎・本村・大木下
	*青字記載は法人から出張扱いでの研修です		
資格取得			
	介護支援専門員（受験1名）：伊原信一郎		
	介護福祉士（受験2名）：永田 弘美		
	：本村 仁美		
他事業所との交流			参加者
	久留米市介護サービス事業者協議会総会・懇親会		長谷川
	久留米市介護サービス事業者協議会施設部会交流会		長谷川
	齋藤医院との協力会議（6回）		濱田・長谷川・高山・高橋
	医療・介護異職種交流会「てっぺん会」（6回）		のべ30人